

患者容態把握ダッシュボードソフトウェアを活用したCCOT活動の後方視的観察研究 —ダッシュボードのみで抽出された症例の特徴とAdvance Care Planning (ACP) 支援への影響—

1、研究の対象

2025年4月1日～2025年7月31日に当院に入院していた患者様のうち、以下の条件を満たす方。

- ① 研究期間中に、日本光電社製患者容態把握ダッシュボード上で、EWS (Early Warning Score) のスコア5点以上として抽出された患者様
- ② 抽出時にCCOT (Critical Care Outreach Team) が評価・介入を行った患者様
- ③ 18歳以上の成人の患者様（小児を除外する場合）

2、研究目的・方法

- ・**研究目的**：バイタルサインをEWSとして集計・可視化する日本光電社製「患者容態把握ダッシュボードソフトウェア」を用いて、病棟全体からEWS高値症例を客観的に抽出し、ダッシュボードによる客観的スクリーニングが
 - ① 予期せぬ急変（予期せぬ死亡・心停止）の予防に寄与しているか、
 - ② CCOT介入がACP支援・緩和ケア移行に果たす役割以上の2点を明らかにし、今後のRRS（院内迅速対応システム）運用改善に資する知見を得ることを目指します。
- ・**研究方法**：カルテレビューをしてデータ収集を行います。
- ・**研究期間**：臨床研究倫理審査委員会承認日（病院長許可日）～2026年3月31日

3、研究に用いる試料・情報の種類

- ・**疾患情報**：患者背景（年齢、性別、入院診療科、主診断・重症度の概略）、抽出関連情報ダッシュボード抽出日時、スコア、抽出経路）、CCOTの介入内容、ACP・治療方針、転帰についてカルテからのデータのみを用います。（試料はありません。）

4、個人情報の取り扱い

症例登録には登録症例の氏名、診療録ID等は使用せず、被験者の秘密保護に十分配慮いたします。研究の結果を公表する際は、被験者を特定できる情報を含まないようにします。

試料・情報の管理について責任を有する者：看護部 看護師 慶田元亜香

5、お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお、すでに学会や論文等で公表されている場合は撤回が困難であることはどうぞご了承ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：浦添市前田1-56-1 電話：098-878-0231（代表）

浦添総合病院

研究責任者：看護部 看護師 慶田元亜香